

平成25年度
高校生建築デザイン
コンクール

課題／「公園内の休憩所」



ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2013

はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしています。

北海道では、平成8年度から道有施設を所管する部局の協力を得ながら、「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の高校生(建築系)を対象に夢のあるユニークなデザインを募集し、その提案を実施設計に取り入れ、道民に愛され親しまれる施設となるよう建設を進めています。

さらに、平成12年度からは、コンクールの内容を一層充実するため、公益社団法人 日本建築家協会北海道支部、一般社団法人 北海道建築士事務所協会、一般社団法人 北海道建築士会との共催事業として実施しています。

将来建築を志す高校生の方たちがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しています。

今回募集した課題につきましては、網走市の道立向陽ヶ丘病院の建替後の敷地に休憩所を整備することを想定し設定したところ、6校100人から62作品の応募がありました。

公園を訪れる病院の患者や関係者、地域住民が利用する休憩所について、積雪などの自然環境や周辺環境、建築物及び外構のユニバーサルデザインに配慮することなどを求めましたが、高校生らしい創造性にあふれたレベルの高い作品が多く寄せられました。

応募された皆様には、心からお礼申し上げます。

厳正な審査を経て、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただきました先生方をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆さんには、今後も専門の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成25年12月

北海道建設部長 下出 育生

平成25年度

高校生建築デザインコンクールの概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内の高等学校(建築系学科)に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

- 1 課 題 「公園内の休憩所」
公園・散策路を利用する病院の患者や関係者、地域住民が利用する休憩所を設計して下さい。
- 2 応募資格 道内高等学校(建築系学科)に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
 - ① 作品タイトル
 - ② 設計主旨
 - ③ 配置図・平面図 1/100～1/150
 - ④ 断面図 1/50～1/100
 - ⑤ 立面図 1/50～1/100
 - ⑥ スケッチ
 - ⑦ 面積表
- 4 応募作品 100名から62作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品1作品・優秀作品3作品・佳作4作品・特別賞2作品
- 6 経 過

募集要項配付	平成25年6月14日
作品受付	平成25年8月25日～平成25年9月4日
選定委員会	平成25年9月18日
作品展	平成26年1月7日～平成26年1月8日
- 7 選定委員

遠藤謙一良	公益社団法人	日本建築家協会北海道支部副支部長
仙座 猛	一般社団法人	北海道建築士事務所協会業務・技術委員会担当副会長
滝田 祐人	一般社団法人	北海道建築士会まちづくり委員会委員
小山 茂樹		北海道教育庁学校教育局高校教育課長
鈴木 大智		北海道建設部建築局建築整備課長



審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の高等学校(建築系学科)に在籍する建築を志す生徒の皆様から夢のあるアイデアを募集し、最優秀作品の趣旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めようとするものです。

今年度も、多くの関係者に支えられ、高校生建築デザインコンクールを盛会のうちに進めることができました。

選定委員会を代表して、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

今回は網走市の道立向陽ヶ丘病院の建替後の敷地に100㎡程度の「休憩所」を整備することを想定し、課題としました。

応募された皆様は、市の由来や歴史など、地域の特徴を調べ設計のコンセプトに取り込み、また、人々が集いたくなるようなプランとするためアイデアを煮詰めて設計されたことと思います。

応募作品には、高校生らしい若々しい発想による平面や外観のデザインと環境、構造、仕上材など、それぞれ工夫された設計の提案が数多く見られました。また、多くの作品からこの休憩所をさまざまな人たちに利用して欲しいという思いが伝わってきて大変嬉しく思いました。

審査にあたっては

- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ・立地条件を活かしているか。
- ・ユニバーサルデザインや環境などに配慮されたデザインであるか。

といった観点から、厳正に審査を重ねた結果、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性に溢れたデザイン提案が数多くありました。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからの社会での活躍を期待いたします。

平成25年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 鈴木 大智

平成25年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞 (1作品)

星野 滉太 (北海道苫小牧工業高等学校 2年)
森下 夢巳 (北海道苫小牧工業高等学校 2年)

優秀作品賞 (3作品)

奈良 綾弥 (北海道札幌工業高等学校 3年)
秋本 祐輔 (北海道函館工業高等学校 3年)
品田 憲吾 (北海道函館工業高等学校 3年)

鹿戸 萌実 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
齋藤 佑美 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
中田 舞 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)

佳 作 (4作品)

多田 千恵 (北海道札幌工業高等学校 2年)
宮下 丈瑠 (北海道札幌工業高等学校 1年)
佐藤 友哉 (北海道札幌工業高等学校 1年)
大野 瞬 (北海道美唄尚栄高等学校 3年)
鹿内 奈緒 (北海道美唄尚栄高等学校 3年)
星野 舞 (北海道小樽工業高等学校 3年)
鈴木はつみ (北海道小樽工業高等学校 3年)
松浦 大和 (北海道北見工業高等学校 2年)

特 別 賞 (2作品)

石門 大征 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
大和谷圭輔 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
橘 和樹 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
中村 水紀 (北海道函館工業高等学校 2年)

入賞作品



北海道苫小牧工業高等学校

星野 滉太 (2年)
森下 夢巳 (2年)



multi-direction

設計趣旨 「道の一部」、「道と一体になる」ことをコンセプトに設計しました。それが目的ではなく、公園に行く道の中にあるという考えで、庇で囲まれた外に近い半外部休憩スペース（人がたまる空間）と内部の休憩室を設け、建物のまわりどこからでもアクセスすることができ、外部の休憩場所である公園と連続性を持たせています。休憩室とトイレは分離、それぞれ独立して使用することができ、管理面も考慮しました。直線的でフラットなデザインとし、休憩室とトイレへの採光はハイサイドライトから取り入れ、アクセントとして高さを変えました。また、雪対策のため、緩やかに勾配を付けました。

審査講評 細長い矩形の屋根の下に内部空間と外部空間が線上に配置され、シンプルで立ち寄りやすさと光を取り入れた固有の空間がバランス良く両立されている。道の一部というコンセプトはなかなか良く、プランニングも利用性に優れているなどデザイン、コンセプトとも秀逸な作品であり、特に高く評価されました。



優秀作品賞

北海道札幌工業高等学校

奈良 綾弥 (3年)



A Z A L E A



設計趣旨

網走市の「まちの花」である「エゾムラサキツツジ」をモチーフに作りしました。花は木製の構造体の役割もあり、ガラスのドームを支えています。建物内部はフロアの高さに差をつけて、壁を設けず3つの空間を作りしました。階段とスロープで昇降できるようになっています。この建物は時間や季節によって姿を変えます。花の間の木漏れ日が心地の良い空間を演出し、夜にはライトアップされ、大きなツツジの花束のように見えます。また、四季によって光の演出を変え、特に冬には雪が積もり大きな「かまくら」となり、利用者が暖を取れる「ほっ」とできる建物となります。

この建物は利用するだけでなく、見て楽しく、そして癒され、周囲の環境とも調和し、まちのシンボルとなり地域に貢献できる休憩所となるでしょう。



審査講評

景観としての美しさと存在感、内部の変化のある空間は魅力的で花のモチーフが構造となり、シンプルで柔らかなイメージの中に強い個性があるなど、表現力、デザイン力が豊かな優れた作品として高く評価されました。

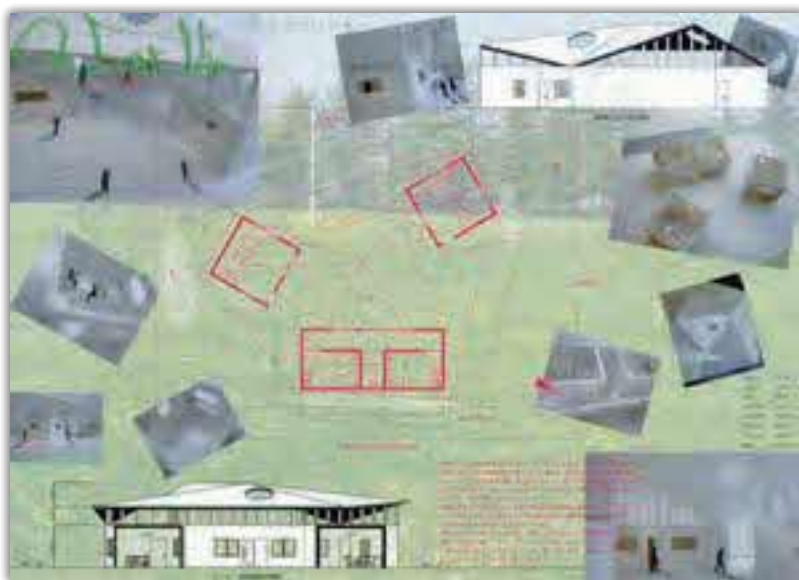


優秀作品賞

北海道函館工業高等学校

秋本 祐輔 (3年)

品田 憲吾 (3年)



On Earth ~このまちだいすき~



設計趣旨

僕は少しの散歩や外の光を浴びにくる病院の患者さんや、病院の見舞いや公園に遊びに来た地域住民の方々が、公園との一体感でゆったりと過ごせるイメージでこの「On Earth」を設計しました。便所と会議や休憩ができる室とを全く別の棟として計画し1枚の屋根でつなぎました。3棟の中央部分は屋根のかかった「風の広場」となっています。屋根は変形の六角形にして、屋根の積雪が落ちた時に動線や入口をふさがないようにしています。高さに上下差のある屋根と建物の間を風が通り抜け、また屋根の影が落ち様々な表情になります。病院からのアプローチと休憩所、公園が一体となるよう動線に配慮しました。

屋根には天窓も備えてあり、ガーデニングも楽しめるようになっていました。この休憩所に来てくれた方々に「ああ、落ち着くなあ。過ごしやすいなあ」と思ってもらえるよう願っています。



審査講評

三つのスペースを傾斜屋根が覆うことで屋根が諸室から浮かび、軽快で、人々が集まりやすい場所を創出しており、外部空間を含め、魅力あるプランニングであるなど、コンセプトや表現力が高い作品として評価されました。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

鹿戸 萌実 (3年)
齋藤 佑美 (3年)
中田 舞 (3年)



a part of nature



設計趣旨

この建物は、トイレと休憩所を別棟にし、独立して使用できるようにすることで、アクセス経路を2方向とし、人も風も通り抜けるように設計しました。
また、病院から駐車場や公園に流れるようなアプローチを考えました。
休憩所はガラス張りにし、採光を多く取り入れ、開放的空間としました。
夏場は、休憩所を半開放することで、より自然を感じる事ができ、風も通り抜け、涼しく快適に過ごせます。
曲線を使うことで建物の温かみや、優しさ、自然との調和を考えてみました。



審査講評

傾斜を持った円形二重屋根の2棟構成が創造性に富み、円形による明快な外壁と庇による一体化されたプランであり、特にガラスによる休憩所は、庭に開かれ、様々な可能性を感じるなど、ユニークさやデザイン性が高い作品として評価されました。



佳作

北海道札幌工業高等学校

多田 千恵 (2年)
宮下 丈瑠 (1年)
佐藤 友哉 (1年)



星の下で集う！ 星の休憩所



設計趣旨

人口3万8000人。オホーツク海に面している網走市は、冬には流氷が見られ、流氷が去る時期には流氷の上位蟹楼である幻水も見ることができます。そんな網走市の小高い丘の上に建つ向陽ヶ丘病院横の公園内にある休憩所。この休憩所は網走市旗をモチーフにしています。網走市旗の星は北極星を意味し、さらに星の周囲の青はオホーツク海をイメージしています。この色は休憩所の外壁にも使われています。晴天が多い網走市に合った開放的なガラス張りの窓は夏場は取り外して開放することも可能です。休憩所内には展示場を設けているので網走市の歴史などを展示することもできます。
室内は変化に富み、各コーナーに落ち着いた空間を演出しゆっくりと談笑できるスペースとしました。
また、天井が高く、変化に富みたくさんの人が集まっても圧迫感が無くゆとりを持った空間となっております。



審査講評

休憩スペースが多利用できることや星の形状の屋根は印象的であり、街のコンセプトを活かしたデザインが魅力的な作品である。



北海道美唄尚栄高等学校

大野 瞬 (3年)
鹿内 奈緒 (3年)



ニポポ

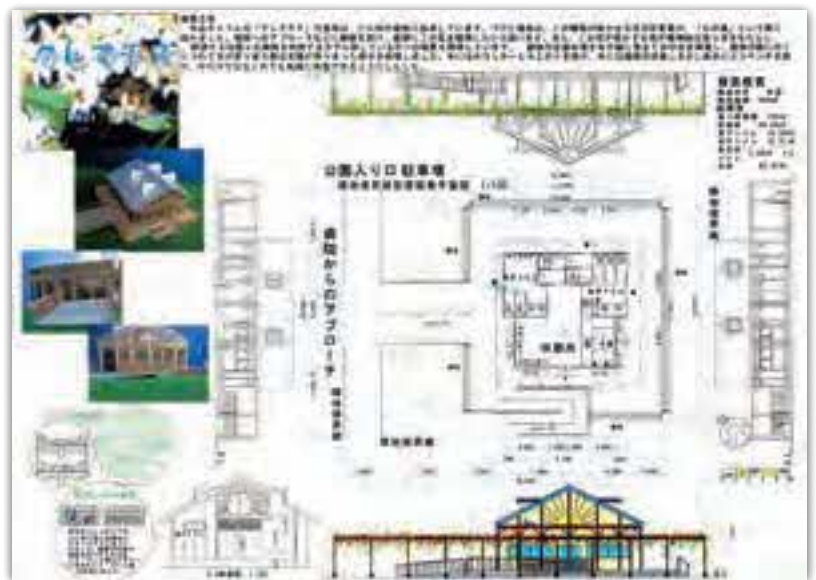
設計趣旨 この建物は建設予定地が「網走」ということで、網走のマスコットキャラクターである「ニポポ」をイメージして、基本を八角形のデザインにし、上部は八角錐にしています。そして、立面の縦と横の長さの比を人間にとって最も安定した美しい比率とされる「黄金比」になるようにしました。また、その比率にすると天井がとて高くなってしまいうため、格子状の天井で高さを抑えながらも、天井付近のハイサイドライトにより換気を可能にし、室内の通風を確保しました。床の段差は極力なくし、入り口など段差が必要な場所は全てスロープで処理しています。

審査講評 街のマスコットをモチーフにし、プラン・立面・断面と光やプロポーションを工夫し、快適性と独特の存在感を創り上げている作品である。



北海道小樽工業高等学校

星野 舞 (3年)
鈴木はつみ (3年)



クレマチス ~a rest station~

設計趣旨 作品タイトルの「クレマチス」の意味は、ツル科の植物に由来しています。つけた理由は、この植物が咲かせる花の花言葉が、「心の美」という事に因みました。病院へのアプローチなどに藤棚を設け、藤棚にこの花を使用したいと思います。また、この花が咲かす白色が精神的な安らぎをもたらし、隣接する向陽ヶ丘病院を利用する方や入院している方への効果も期待しています。建物の正面の梁を水平線に見立て日の出を再現し、建物の奥に行くにつれて日が昇り後ろ側は太陽が昇りきった様子を再現しました。中にはカウンターと小上がりを設け、外には屋根の日差しを少し長めにとベンチを設け、中だけではなく外でも気軽に休憩できるようにしました。

審査講評 オードソックスなプランの中に人々が快適に過ごせる空間が確保され、何よりもクレマチスで覆われた回廊が良好で魅力的な環境を創り出した作品である。



北海道北見工業高等学校

松浦 大和 (2年)



ウェカラパ



設計趣旨

網走市らしさを表現しようと思い、屋根のゴツゴツした感じを流水、病院の上階から見た形を雪の結晶、ポーチの4本の柱をニポボ人形で設計しました。

作品のタイトルは、アイヌ語で「集まる」という意味の『ウェカラパ』という名前にし、たくさんの人が集まれるような休憩所になりました。

トップライトを設けることで、昼は明るく、夜は星を眺めることができ、冬には暖かい光が差し込みます。また、トイレを中央に配置することで、入口からトイレまでの動線を短くし、休憩スペースを2つの空間に分け、それぞれ違う使い方ができるようにしました。



審査講評

流水の街、網走らしい外観が力強く、建物のデザインの空間コンセプトがしっかりしており、変形多角形が特徴的な作品である。



北海道苫小牧工業高等学校

石門 大征 (3年)

大和谷圭輔 (3年)

橘 和樹 (3年)



小さな丘 自然の中の休憩所



設計趣旨

この建築物は、室内の床を地面より下げることで、休憩所内でイスに腰掛けたとき、目線の高さに地面がくるように高さを設定しました。これにより、いつもとは違う目線で世界を見ることができるようになりました。

また、柱を円状に配置し、ひねりを加えることで空間を緩やかに区切り個の空間を作りました。これらにより、普段とは違う空間を楽しむことができます。外観は緩い傾斜がついた屋根を地面まで伸ばし、緑化することにより、敷地との一体感を創出し床レベルを地面より下げることで高さによる圧迫感を軽減させることで敷地に馴染む外観にしました。

屋根面緑化および建築物を地面に埋めることにより断熱性能を向上させています。

また、地中に空気の流れるパイプを埋設することにより地面の熱を利用した送風を可能としています。



審査講評

環境に優れ、内部空間も構造を利用しユニークにできており、アイデアにあふれ、個性的で印象的な作品である。



北海道函館工業高等学校

中村 水紀 (2年)



Snowman

設計趣旨

外観は自然に溶け込めるようなデザインにして、たくさんの人が利用できるようなベンチなどを多く設けました。冬、丸い屋根に雪が積もると病院側から見た時に雪だるまに見えるようにしました。建物を丸い形にして長い窓を設けた事で建物内のどこからでも公園内の景色が目に入るようにしました。又、公園内や森林を眺めながら休憩できるように窓に沿ってカウンターを設けました。

お年寄りや子供など色々な人が利用しやすいよう設計しました。

審査講評

庭と空間が一体となり、集まりたくなるようなバランスの良いデザインであり、雪が載った雪だるまも優しげで、高校生らしい独創的な作品である。

平成25年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

北海道札幌工業高等学校

- 植木 亮輔 [3年]
- 西本 光 [3年]
- 清水 完 [1年]
- 3名グループ
- 多田 千恵 [2年]
- 宮下 丈瑠 [1年]
- 佐藤 友哉 [1年]
- 3名グループ
- 奈良 綾弥 [3年]

北海道函館工業高等学校

- 秋本 祐輔 [3年]
- 品田 憲吾 [3年]
- 2名グループ
- 浅川 愛花 [3年]
- 石原 左稀 [3年]
- 井田菜々子 [3年]
- 加茂 怜子 [3年]
- 川村 綾花 [3年]
- 小林 優希 [3年]
- 小松 美波 [3年]
- 斉藤わかめ [3年]
- 笹森 瑠花 [3年]
- 菅原ゆかり [3年]
- 関口 南緒 [3年]
- 武田 到 [3年]
- 竹本 茜理 [3年]
- 館山友理奈 [3年]
- 能登 悠花 [3年]
- 野村 翔馬 [3年]
- 裕田 大樹 [3年]
- 三浦 朱理 [3年]
- 安田つぐみ [3年]
- 山中 優女 [3年]
- 和野 明菜 [3年]
- 赤石 悠夏 [2年]
- 岡田 莉帆 [2年]
- 黒坂 優奈 [2年]
- 齊藤 斐 [2年]
- 佐々木美夢 [2年]
- 佐藤 莉奈 [2年]
- 高田 美空 [2年]
- 竹内 早紀 [2年]
- 永井 育海 [2年]
- 中村 水紀 [2年]
- 中村 知子 [2年]
- 水上 京香 [2年]
- 山崎 弥月 [2年]
- 山崎 優奈 [2年]

北海道小樽工業高等学校

- 星野 舞 [3年]
- 鈴木はつみ [3年]
- 2名グループ
- 和田 大輝 [3年]
- 武蔵 輝 [3年]
- 中村慎之輔 [3年]
- 3名グループ
- 吉田 希 [3年]
- 小熊 匠 [3年]
- 2名グループ
- 加藤 千尋 [3年]
- 棟方 隼人 [3年]
- 野田 隼人 [3年]
- 渡邊 大樹 [3年]
- 3名グループ

北海道苫小牧工業高等学校

- 西田 悠乃 [3年]
- 西村 健吾 [3年]
- 森田 健斗 [3年]
- 3名グループ
- 後藤 健大 [3年]
- 佐々木 涼 [3年]
- 安田 康太 [3年]
- 3名グループ
- 下川原幸宏 [3年]
- 堀部 孝太 [3年]
- 2名グループ
- 吉田 貴史 [3年]
- 養島 颯人 [3年]
- 2名グループ
- 石門 大征 [3年]
- 大和谷圭輔 [3年]
- 橋 和樹 [3年]
- 3名グループ
- 金子 翔亮 [3年]
- 佐藤 柊馬 [3年]
- 佐藤 大悟 [3年]
- 3名グループ
- 佐藤 瑠唯 [3年]
- 大橋 大志 [3年]
- 齊藤 翔太 [3年]
- 3名グループ
- 坂本 拓海 [3年]
- 小西 大地 [3年]
- 丹羽 達寛 [3年]
- 3名グループ
- 片野 裕太 [3年]
- 亀淵 皓平 [3年]
- 2名グループ
- 佐々木秀聡 [3年]
- 古谷 匠 [3年]
- 岩淵 淳也 [3年]
- 3名グループ
- 佐橋 宏基 [3年]
- 高橋 勇樹 [3年]
- 2名グループ
- 中村 勇斗 [3年]
- 新沼 涼平 [3年]
- 2名グループ
- 梁川 彰太 [3年]
- 中川 優我 [3年]
- 安岡 一真 [3年]
- 3名グループ
- 森 拓真 [3年]
- 山下 蓮 [3年]
- 岡田 康平 [3年]
- 3名グループ
- 鹿戸 萌実 [3年]
- 齋藤 佑美 [3年]
- 中田 舞 [3年]
- 3名グループ
- 星野 湜太 [2年]
- 森下 夢巳 [2年]
- 2名グループ

北海道北見工業高等学校

- 松浦 大和 [2年]

北海道美唄尚栄高等学校

- 大野 瞬 [3年]
- 鹿内 奈緒 [3年]
- 2名グループ

高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数
札幌工業高等学校	3
函館工業高等学校	36
小樽工業高等学校	5
苫小牧工業高等学校	16
北見工業高等学校	1
美唄尚栄高等学校	1
計	62

応募62作品、参加人数100名



ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2013



共催

北海道 (公益社団法人) 日本建築家協会北海道支部 (一般社団法人) 北海道建築士事務所協会 (一般社団法人) 北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

平成25年12月